6. 教育・普及事業

■イベント・ワークショップ■

＜キッズギャラリートーク＞

日　程　2012 年 8 月 11 日（土）
内　容　小学校３年生～6 年生・中学生の「キッズ TARO」が
　　岡本太郎作品についてギャラリートークを行う。
場　所　常設展示室
料　金　無料
参加数　8 月 11 日（土）児童２名　一般観覧者　約 24 名

＜美術館探検ツアー＞

日　程　2012 年 7 月 28 日（土）、8 月 12 日（日）
内　容　中・高校生を対象に、ワークシートのクイズを解きながら美術館の裏側を探検していくイベント。美術館職員の引率で、一般には公開されていないバックヤードや、作品を保存するための施設や設備を見学。
場　所　企画・常設展示室、バックヤードなど
料　金　無料
参加数　7 月 28 日（土）生徒 10 名、8 月 12 日（日）生徒 14 名

＜みんなで楽しく！岡本太郎の作品鑑賞＞

日　程　2012 年 8 月 2 日（木）、9 日（木）
内　容　当日集まった小・中学生が、美術館職員の作品解説を聞いたり、互いに自由な感想を述べ合ったりしながら、一緒に展示室をまわり、岡本太郎作品を楽しむ。
場　所　企画・常設展示室
料　金　無料
参加数　8 月 2 日（木）児童生徒 22 名、保護者　約 15 名
　　8 月 9 日（木）児童生徒 20 名、保護者　約 10 名

＜家族で遊ぶ美術館＞

日　時　2012 年 8 月 26 日（日）
内　容　家族や友達などのグループで展示室を回った後、岡本太郎作品のアートカードで神経衰弱や連想ゲームなどを行い、楽しく作品と触れ合う。
場　所　企画・常設展示室、創作アトリエ
料　金　無料
参加数　19 名

＜TARO 作品スケッチ大会＞

日　時　　2012 年 7 月 29 日（日）
内　容　　参加者全員で展示を巡り解説や感想を聞いた後、展示室で本物の作品を見ながらスケッチをする。
家族やグループで合作など楽しみながらスケッチする。
完成作品を記念台紙に張って持ち帰る。
場　所　　企画・常設展示室、創作アトリエ
料　金　　無料
参加数　　児童生徒 15 名　保護者 10 名

＜キッズ TARO 展＞

期　間　　2012 年 11 月 23 日（金・祝）～2013 年 1 月 27 日（日）
内　容　　自由な発想で、独創的な作品を作り続けた岡本太郎の精神を受け継ぎ、自由な表現の場として、川崎市内の小学生の絵画作品による展示会。テーマを岡本太郎の作品にも多くある「顔」として、自分の、家族の、また誰でもない顔、心の顔などを自由に表現した作品。応募数が多数のため、展示期間を延長し 8 期に分けて各一週間の展示で実施。
場　所　　ギャラリー
料　金　　無料
参加数　　1,415 点

＜文化財保護ポスター展＞

期　間　　2013 年 2 月 19 日（火）～2 月 28 日（木）
内　容　　神奈川県教育委員会が実施している文化財ポスター募集事業への川崎市内中学生からの応募作品を展示。市民の文化財保護への関心を高め、理解を深める一助となるよう開催した。
場　所　　ギャラリー
料　金　　無料
参加数　　35 点

＜イレブンガールズアートコレクションによる手ぶらで参加出来るワークショップ＞

日　時　　2012 年 8 月 18 日（土）19 日（日）、10 月 28 日（日）、12 月 2 日（日）
2013 年 2 月 11 日（月・祝）
内　容　　若手女子アーティストユニット　イレブンガールズがプロの芸術家として駆使している技術と普段使用している画材を、市民参加型のワークショップで披露。このワークショップで使用される画材の多くは、画材メーカーから供給されるので参加者は手ぶらで参加できる。
場　所　　創作アトリエ
料　金　　無料
参加数　　・8 月 18 日（土）児童生徒 29 名　保護者 19 名　・8 月 19 日（日）児童生徒 23 名　保護者 19 名
・10 月 28 日（日）4 コース 29 名　　・12 月 2 日（日）4 コース 54 名
・2 月 11 日（月・祝）4 コース 46 名

■団体利用実績■

当館では 20 人以上の団体が美術館を利用する場合、無料で岡本太郎紹介ビデオの視聴や簡単なレクチャーを行っています。また、学校や教育機関による団体での鑑賞学習や、美術館を利用したグループ学習については、利用する教育機関側と美術館職員が事前に打ち合わせを行い、対象年齢や学習目的に応じた鑑賞プログラムを作成しています。

平成 24 年度 団体利用実績

	小・中学校		高校・大学		特別支援学校等		一般・65 歳以上		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	0	0	0	0	0	0	1	40	1	40
5	5	490	3	57	3	74	9	321	20	942
6	11	1032	2	68	1	36	3	108	17	1,244
7	10	893	0	0	0	0	7	590	17	1,483
8	9	228	1	12	5	66	7	258	22	564
9	16	1,817	0	0	1	15	5	83	22	1,915
10	21	2,383	1	16	2	23	3	111	27	2,533
11	22	2,162	1	37	1	8	11	452	35	2,659
12	10	1,139	1	13	1	56	2	51	14	1,259
1	8	902	0	0	1	25	1	30	10	957
2	10	689	0	0	1	15	0	0	11	704
3	2	136	0	0	0	0	2	64	4	200
計	**124**	**11,871**	**9**	**203**	**16**	**318**	**51**	**2,108**	**200**	**14,500**

■教育プログラム■

＜職業体験プログラム＞

内　　容　体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各 1 時間程度体験します。

24 年度実施学校

1. 川崎市立菅中学校　2 学年 6 名（2012 年 7 月 24 日 9:30～15:30）
2. 神奈川県立高等学校インターンシップ　1～3 学年 5 名（2012 年 7 月 26 日 9:30～15:30）
3. 川崎市立犬蔵中学校　2 学年 2 名（7 月 31 日 9:30～15:30）
4. 川崎市市立向ヶ丘中学校　1 学年 6 名（8 月 7 日 9:30～15:30）
5. 県立菅高等学校　1 学年 6 名（8 月 24 日 9:30～15:30
6. 川崎市立稲田中学校　2 学年 6 名（8 月 29 日 9:30～15:30）
7. 川崎市立金程中学校　2 学年 6 名（9 月 31 日 9:30～15:30）
8. 川崎市宮崎中学校　2 学年 6 名（9 月 13 日 9:30～15:30）
9. 川崎市立菅生中学校　2 学年 2 名（9 月 25・26 日 9:30～15:30）

10. 県立麻生総合高等学校　1 学年 6 名（11 月 15 日）
11. 川崎市立塚越中学校　2 学年 10 名（11 月 27・28 日）
12. 川崎市立有馬中学校　2 学年 6 名（12 月 5・6 日 9:30～15:30）
13. 川崎市立宮前平中学校　2 学年 6 名（2013 年 1 月 16 日 9 :30～15 :30）
14. 川崎市立高津中学校　2 学年 4 名（1 月 23・24 日 9:30～15:30）
15. 川崎市立生田中学校　2 学年 6 名（1 月 25 日 9 :30～15 :30）
16. 川崎市立長沢中学校　2 学年 6 名（2 月 20・21 日 9:30～15:30）

＜高校の利用＞

24 年度利用学校

1. 川崎市立橘高校定時制　20 名（2012 年 6 月 1 日）
2. 県立高津養護学校高等部　36 名（6 月 6 日）
3. 川崎市立養護学校高等部　18 名（8 月 24 日）
4. 川崎市立総合科学高校　37 名（11 月 6 日）
5. 科学技術学園高校　13 名（12 月 15 日）

＜大学・専門学校の利用＞

24 年度利用学校

1. 専修大学経済学部　21 名（2012 年 5 月 15 日）
2. 関東学院大学　25 名（5 月 18 日）
3. 神奈川大学　110 名（5 月 27 日）
4. 専修大学文学部　2 名（6 月 29 日）
5. 日本女子大学　1 名（7 月～12 月）
6. 専修大学文学部　15 名（7 月 18 日）
7. 玉川大学　12 名（8 月 3 日）

■館外普及活動■

＜出張授業＞

内　　容　美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めます。

24 年度実施学校

1. 川崎市立子母口小学校　105 名（2012 年 6 月 19 日）鑑賞（美術館見学前の事前指導）
2. 川崎市立川中島小学校　103 名（6 月 21 日）鑑賞
3. 川崎市立御幸中学校　116 名（6 月 22 日）鑑賞（美術館見学前の事前指導）
4. 川崎市立南加瀬小学校　110 名（7 月 10 日）鑑賞
5. 川崎市立宮崎台小学校　304 名（7 月 12 日、9 月 11 日）鑑賞（美術館見学前の事前指導）
6. 横浜市立新吉田小学校　134 名（10 月 3 日）鑑賞

7. 川崎市立菅生小学校　96 名（10 月 11 日）鑑賞（美術館見学前の事前指導）
8. 川崎市立藤崎小学校　128 名（10 月 18 日）鑑賞と制作（体験教室）
9. 川崎市立川中島中学校　13 名（10 月 20 日）鑑賞と制作（美術館見学前の事前指導）
10. 川崎市立幸町小学校　100 名（11 月 9 日）鑑賞と制作（美術館見学前の事前指導）
11. 川崎市立玉川中学校　15 名（11 月 17 日）鑑賞と制作（美術館見学前の事前指導）
12. 横浜市立戸手小学校　390 名（12 月 12・19 日、2013 年 1 月 15 日）鑑賞
13. 川崎市立殿町小学校　118 名（12 月 18 日）鑑賞
14. 川崎市立宮崎台小学校　152 名（2 月 6 日）鑑賞
15. 川崎市立梶ヶ谷小学校　100 名（2 月 13 日）鑑賞

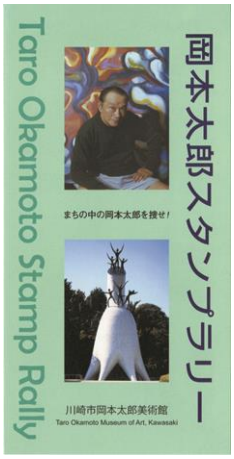
＜岡本太郎美術館スタンプラリー＞

期　　間　2004 年 3 月 13 日より開始
認定者数 295 名　（2013 年 3 月 31 日現在）

内　　容　川崎市内や都内近郊にある岡本太郎作品を所蔵する施設の作品や情報を掲載。各施設のスタンプをすべて集めることにより、美術館からスタンプラリー認定証と、川崎市岡本太郎美術館、岡本太郎記念館の招待券（各 2 枚）を贈呈。（平成 19 年度よりスタンプ設置箇所を変更）

＜作品･スタンプの設置場所＞
川崎市岡本太郎美術館
岡本太郎記念館
とどろきアリーナ
川崎市市民ミュージアム
大山街道ふるさと館（スタンプのみ設置）

＜作品のみ設置場所＞
二子神社境内　岡本かの子文学碑
ミューザ川崎シンフォニーホール
入江崎スラッジセンター
川崎市役所第三庁舎 1 階ロビー
川崎市多摩区役所
高津市民館
川崎市立藤崎小学校
神奈川県立向の岡工業高校



■教材開発と利用■

＜ビデオ「岡本太郎の芸術」＞

規　　格　「岡本太郎芸術を語る」（29 分 50 秒）の短縮版・再編集 18 分

内　　容　岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作、フィールドワークなど様々な活動の記録をわかりやすく解説
※テロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）

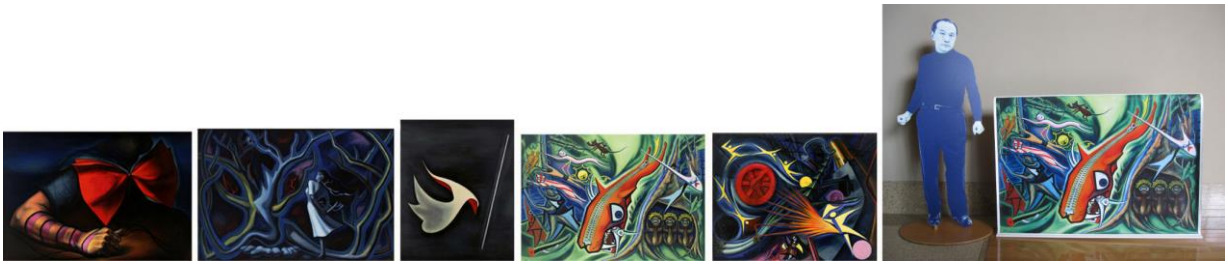
＜作品プリント＞

アートカード
24 枚セット
12 × 18 (cm)
※アートカードを使用した
　ゲームや遊び方例付き

ラミネート加工
36 枚セット
42.5 × 30 (cm)
※個々の作品についての
　解説付き

アルミフレーム入り
20 枚セット
42.5 × 30.5 (cm)

＜掲示用大判プリント＞



5 枚セット
103×144 (cm)

＜子ども向けパンフレット＞

岡本太郎の作品を年代順に紹介し、両親である岡本一平・かの子についてや川崎市内に設置されている太郎作品、美術館の案内図などを掲載した小・中学生向けのパンフレット。裏面は切り取って使用できるはがきになっており、子どもたちが感想などを自由に書いて美術館へ送ることが出来ます。（届いたはがきは､館内のギャラリースペースで閲覧可能）

24 年度　子どもからのはがき

小学校	5 校（573 通）
個人（幼児・児童・生徒）	16 通

（2013 年 3 月 31 日現在）

■美術館教育研究会■

第 1 回

日　　時　　2012 年 8 月 30 日（木）　14:30～16:00
場　　所　　岡本太郎美術館　創作アトリエ
議　　題　　① 24 年度上半期の普及事業報告
イレブンガールズアートコレクションによる手ぶらで参加出来るワークショップ／
キッズギャラリートーク／美術館探検ツアー／みんなで楽しく！岡本太郎の作品鑑賞／
TARO 作品スケッチ大会／家族で遊ぶ美術館／「キッズ TARO」展／
小学校夏季実技研修／美術館外普及活動
② 美術館の利用状況について
利用団体、入館者数／中学生の夏休み課題での利用／普及教材の貸し出し状況
③ 展覧会事業報告・展覧会事業予定
④ 縄田芳信指導主事より情報提供
美術館と学校における鑑賞教育の現状と課題
⑤ 研究討議
美術館と学校教育の連携のあり方／普及教材の開発と利用について／その他自由討議
出 席 者　　小・中学校：縄田芳信（総合教育センター指導主事）、岡部養一、紺野清美、桑原こすも、山田礼子、
田口雅之、黒田智、湯瀬明意、北潟美波、太田景子、柳原麻子
美 術 館：小林正人（副館長）、大高 修、永野越子、久保麻紀子、守屋亜衣

第 2 回

日　　時　　2013 年 3 月 1 日（金）　14:30～16:00
場　　所　　岡本太郎美術館　創作アトリエ
議　　題　　① 23 年度下半期の普及事業報告
川崎市内小学生「キッズ TARO」展 2012/11/23～2013/1/23
ワークショップ／美術館外普及活動
② 美術館の利用状況について
利用団体、入館者数／普及教材の貸し出し状況
③ 展覧会事業報告・展覧会事業予定
④ 縄田芳信指導主事より情報提供
⑤ 研究討議
美術館と学校教育の連携のあり方／普及教材の開発と利用について／
実践事例について／その他自由討議
出 席 者　　小・中学校：縄田芳信（総合教育センター指導主事）、橋本文恵、紺野清美、
桑原こすも、田口雅之、湯瀬明意、
美 術 館：小林正人、大高 修、永野越子、久保麻紀子、守屋亜衣